

# 食の安全と日本の農業を考える

農家と消費者が、ともに語り合いましょう

増え続ける輸入食品、下がり続ける自給率。米価暴落が農家をいっそう苦しめています。TPPや農協の解体がねらわれるなか、食の安全と日本の農業を守る共同を広げることが急がれます。

遺伝子組換えナタネの自生調査、放射線調査など食品分析に取り組んできた八田純人氏を講師に、食の安全と農業について考えませんか？



**講師：八田純人さん** 農民連食品分析センター所長

**と き：5月9日（土）午後1:30～3:30**

**ところ：労働福祉事業会館（旧労金ビル）**

岡山市北区津島西坂1-4-18

資料代 300円

—農民連食品分析センターとは—

残留農薬や重金属、細菌の検査、遺伝子組み換え作物や分析、会員の生産した農産物の安全性をチェックして消費者にアピールするとともに、輸入農産物の残留農薬を告発して政府を動かし、テレビでもたびたび紹介されています。

また、原発事故をきっかけに放射線調査の装置を導入し、原発ゼロをめざす運動とタイアップしています。

主催：新日本婦人の会岡山県本部  
岡山県農民運動連合会

TEL086-901-0120  
TEL086-298-2920